

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年1月20日(月)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

生き物を表現する① ～衣装作り～

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- ・子ども達にお楽しみ会で何をしたいのか問いかけると物づくりをしたいとリクエストがあった。そこでお客さんに披露できる作品としてファッションショーを提案し、衣装を作ることになった。

2. 活動スケジュール

- ・おたのしみ会のファッションショーで披露する衣装づくりを行う。
- ・生き物をテーマにして、それぞれ色々な生き物をイメージし、ポリ袋を土台としてスズランテープや段ボールなどを使いパーツを作り切り貼りしていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・ポリ袋
- ・テープ
- ・スズランテープ
- ・ハサミ
- ・油性ペン
- ・段ボール
- ・ポスカ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・自分のイメージする衣装を絵で描いてみる。
- ・絵をもとにどうやったらイメージに近づけられるか考えながら、ポリ袋を土台にしてスズランテープや段ボールなどを使い切り貼りしていく。
- ・ポスカや油性ペンを使い色を付けたり模様を描いたりしていく。
- ・完成した衣装を試着し、友達同士で披露する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>• 子ども会議 「どんな衣装が作りたい？」と尋ねると「うさぎ」「くらげ」等生き物の名前が沢山出てきた。出てきたアイデアを絵にしてみた。「ここに耳をつけたいな」「しっぽもないとわからないよね」と、動物の表現の仕方を友達と話しながら描いていた。</p> <p>• 製作 作り始めると「ここに黒色をつけて、こっちに模様かな」と、自分のイメージをどんどん形にしていく子もいれば、「どうやってやればいいんだろう」と迷っている子もいた。友達の作っている姿を見て“こんな作り方があるんだ”と真似をしてみたり、「耳作りたいんだけどどうしたらいいかな」と上手な子に聞きに行ったりする姿も見られた。作っていくうちに「海の生き物だから、海っぽくしたいな」「お面がほしい」等、衣装だけでなく付属の物を作りたくなる姿も見られました。</p>	   

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

初めは、自分の頭の中で考えた衣装のイメージを絵に描きおこし、ある素材を使って絵から形にしていく工程に「こうしたいけど、どうしたらいいか分からない」と悩んでいる姿もあったが、作業を進めていくうちに、子ども達同士でアイデアを出し合い楽しそうに進めていく姿が見られた。また衣装だけに留まらず、自分のイメージをより具体的に表現するために、小物や大道具などを作っている子もいた。お楽しみ会本番は子ども達が自分の作品を着て、のびのびと表現できるようにリラックスした空間づくりをしていきたいと思う。